教育ローン・奨学金に関する基礎知識

❶ 教育ローンと奨学金の違いは・・・?

教育ローンとは・・・		奨学金とは・・・	
お金を受け取るのは	保 護 者	お金を受け取るのは	学　生
借りたお金を返すのは	保 護 者	借りたお金を返すのは	学　生
お金を受け取る方法は（※信販系教育ローンは直接学校へ振込）	一括振込	お金を受け取る方法は（日本学生支援機構の場合）	毎月振込
お金を受け取る時期は	入学前～在学中	お金を受け取る時期は	在学中のみ（一部例外あり）

志望校決定の際のポイント

認可校の特長	「認可校」とは学校教育法に基づいて設立され、都道府県の認可を受けた学校です。 ☐ 通学定期乗車券が購入できる　☐ 学割が適用される ☐ 日本学生支援機構（旧 日本育英会）奨学金制度が利用できる ☐ 金融機関教育ローンが申込める
「専門士」について	☐ 修業年限が2年以上であること。 ☐ 総授業時間数1,700時間以上等の条件を満たす学校を卒業すると授与される称号です。
「高度専門士」について	☐ 修業年限が4年以上であること。 ☐ 総授業時間数3,400時間以上等の条件を満たす学校を卒業すると授与される称号です。

本校は上記条件を満たす認可校なので、卒業と同時に「専門士」もしくは「高度専門士」の称号を授与されます。

❷ 教育ローンには、大きく分けて3種類あります

国の教育ローン　信 販 系　銀 行 系

授業料や海外研修などの資金が必要になった時、いつでも申込ができます。

❸ 奨学金には、大きく分けて4種類あります

1 独立行政法人 日本学生支援機構（旧 日本育英会）

日本学生支援機構（旧 日本育英会）は、独立行政法人日本学生支援機構法に基づき、国の育英奨学事業を行う機構です。

2 地方公共団体（都道府県・市町村）

奨学金には、各都道府県や市町村の地方公共団体（自治体）の奨学金もあります。希望される場合はあなたが居住する都道府県や市町村に奨学金制度があるかどうか、採用人数や金額はどの程度なのか、などを直接お問い合わせください。

3 学校独自で設けている制度

本校では様々な「学費サポート制度」を展開しています。あなたの希望や状況に合わせて選べます。

●兄弟姉妹学費免除あり

※兄弟姉妹学費免除については、学生募集要項をご確認ください。

4 民　間（企業・交通遺児・新聞）

民間の奨学金は企業や個人が創設して給付や貸与を行うものです。この奨学金の特長は、給付や貸与の際に学業成績の基準がかなり厳しいこと、経済状況などにさまざまな条件があることです。

あなたの希望に合わせた 学費サポートプランを選ぼう!

「入学して夢を叶えたい!でも学費や生活費が心配・・・」「家族に負担をかけたくない!」
そんなあなたのために「学費サポートプラン」をご案内します。
奨学金の他に様々な教育ローンもあります。
借りる範囲や返済方法は、あなたの希望や状況に合わせて選べます。

ご家庭の希望に合わせて選べる学費サポートプラン

P3・4へ
国の教育ローン
日本政策金融公庫

P5へ
信販系教育ローン
（株）オリエントコーポレーション
（株）ジャックス
SMBCファイナンスサービス（株）

P5へ
銀行系教育ローン
中央労働金庫　三井住友銀行
みずほ銀行

P6へ
奨学金制度
地方自治体の奨学金
生活福祉資金貸付制度
母子福祉資金/父子福祉資金

P7・8・9・10へ
奨学金制度
日本学生支援機構

P10へ
新聞奨学生
学生社員制度

よくある奨学金・教育ローンに関するQ&A

	Q:質　問	A:回　答
教育ローン	いつでも申込みはできますか?	授業料や海外研修費などの資金が必要になった時、いつでも申込みできます。入学前準備費用に充てることも可能です。
	申込みしてから 実際に融資が受けられるまで、どのくらいかかりますか?	申込みをされた金融機関によって異なりますが、国の教育ローンでは、2～3週間ほどかかります。オリエントコーポレーションやジャックスなどの信販会社系の教育ローンの場合、2～5営業日ほど要します。
奨 学 金	現在社会人ですが、来年度進学を予定しています。奨学金を受けたいのですが、手続きはどうしたらよいでしょうか?	【予約採用】 高校卒業後2年以内で、これまでに「大学・短大・専修学校専門課程」に入学したことがなければ、入学の前年度に出身高校を通して予約採用を申請できます。ただし受付期間は高校によって異なりますので、出身高校に確認してください。 【在学採用】 入学後、学校を通して申請を受付けます。入学後に学校の担当者に確認してください。
	高校で予約採用の申込みをしましたが、不採用でした。進学後に再度申込みはできますか?	専門学校入学後、春に再度申込みできます。
	連帯保証人や保証人が得られない場合は、どのようにすればよいのですか?	連帯保証人もしくは保証人を得ることが難しい場合は、機関保証制度を利用して、申込みが可能です。
	奨学金の返還はいつ、どのように行いますか?	卒業から約半年経過した、10月より返還が始まります。月賦返還、月賦・半年賦併用返還の2種類があり、指定の口座から引落しされます。

国の教育ローン
日本政策金融公庫（旧・国民生活金融公庫）

日本政策金融公庫は、全額政府出資の政府系金融機関です。
公的な融資制度として安心して利用できることや、低利で手続きが
簡単であることからこれまで多くのみなさまにご利用いただいています。

お問い合わせ先
●教育ローンコールセンター
0570-008656
ナビダイヤル
つながらない場合は（03-5321-8656）　平日9:00～21:00　土曜日9:00～17:00
●ホームページアドレス
https://www.jfc.go.jp/

●ご利用の流れ

※お申込みから通常10日前後で結果連絡があります。（1月～3月はご利用者が多いのでお早めにお申込みください。）
※教育ローンコールセンター（0570-008656）または最寄りの各支店（全国152店舗）で承っております。

志望校が決まったら早めの申込み
※必要時期2～3ヶ月前がお申込みの目安です

↓

相談・申込

↓

出　願

↓

審　査

↓

合格発表

↓

融資決定

↓

契　約

↓

融　資

↓

学費納入・入学の手続き

10日前後

20日程度

お申込みの時にご用意ください

1.借入申込書
2.世帯全員（続柄を含む）が記載された住民票の写し（原本）
　または住民票記載事項証明書
　（いずれも本籍地および個人番号［マイナンバー］は不要）
3.運転免許証またはパスポート
4.直近の源泉徴収票または確定申告書（控）
5.住宅ローン（または家賃）と公共料金の両方のお支払いを
　確認できる預金通帳（最近6ヶ月分以上）
6.「入学資金」の場合は、合格を確認できる書類
　（合格通知書、入学許可証など）
　「在学資金」の場合は、
　在学を確認できる書類（学生証、在学証明書など）
　お使いみちが確認できる書類
　（授業料納付通知書、見積書など）
7.連帯保証人による保証の場合は
　予定保証人の方の源泉徴収票または確定申告書（控）

※右ページの「ご利用いただける方」の【要件】に該当する方は、追加書類をお願いすることがあります。詳しくはホームページをご参照ください。

ご融資のお知らせ（兼借用証書）をお送りします

ご契約の時にご用意下さい

1.ご融資のお知らせ（兼借用証書）
　（ご融資決定後、公庫からお送りします）
2.印鑑証明書
3.「入学資金」の場合は、合格を証明する書類の写し
　（合格通知書、入学許可証など）
4.金融機関からの自動振替による
　ご返済をご希望の場合は、預金口座振替利用届
5.送金先口座の預金通帳の表紙および見開き1ページのコピー

ご利用いただける方

本校に入学・在学される方の保護者で、世帯の年間収入（所得）が次表の金額以内の方。

子どもの人数	世帯の年間収入（所得）の上限額	下記の【要件】に1つでも該当する方
1人	790万円（590万円）Ⅰ	Ⅰ または Ⅱ を超える方 → 990万円（770万円）Ⅲ
2人	890万円（680万円）Ⅱ	
3人	990万円（770万円）	

※「子どもの人数」とは、お申込みいただく方の世帯で扶養している子どもの人数をいいます。年齢、就学の有無を問いません。
　「4人以上」の場合は、コールセンターへお問い合わせください。
※世帯の年間年収（所得）には、世帯主のほか、配偶者などの収入（所得）も含まれます。
※今年の世帯の年間収入（所得）が上表の金額以内となる見込のある方（【要件】に該当することになる方を含む）は、ご利用いただける場合があります。
※年収は源泉徴収票の「支払金額」欄、所得は確定申告書の「所得金額合計」欄をご確認ください。
※ご親族などでもご利用いただける場合があります。

【要件】上記Ⅲに該当する方のみ、①～⑧のいずれかひとつに該当することをご確認ください。
★子どもの人数が2人までの方は、Ⅰ・Ⅱの金額を超えていても【要件】を満たせばⅢの金額以内の方はお申し込みいただけます。

- □① **勤続（営業）年数**が3年未満
- □② **居住年数**が1年未満
- □③世帯のいずれかの方が**自宅外通学（予定）者**
- □④借入申込人またはその配偶者が**単身赴任**
- □⑤今回のご融資が**海外留学資金**
- □⑥**返済負担率**※が30%超
  ※借入申込人の「今後1年間の借入金返済額÷年収（所得）」
- □⑦ご親族などに**要介護（要支援）認定**を受けている方がおり、その介護に関する**費用を負担**
- □⑧大規模な**災害**により**被災**された方

融資額	学生1人につき350万円以内。　※兄弟・姉妹の時に利用していて現在返済中であっても可。
返済期間	15年以内 （交通遺児家庭または母子家庭、父子家庭の方、世帯収入200万円（所得122万円）以内の方 または子ども3人以上の世帯かつ世帯年収500万円（所得346万円）以内の方は、18年以内）
元金据置期間	在学期間内は利息のみ返済とすることができます。（元金据置期間は返済期間に含まれます）
利　率	年1.68%（固定） （2020年11月2日現在。母子家庭、父子家庭、世帯年収200万円（所得122万円）以内の方 または子ども3人以上の世帯かつ世帯年収500万円（所得346万円）以内の方は1.28%）
保　証	（公財）教育資金融資保証基金の保証（保証料が必要です。）※連帯保証人による保証も可能。 ■（公財）教育資金融資保証基金 基金は連帯保証人に代わって融資の保証をする機関です。 ※保証料につきましてはご融資額・ご返済期間により異なりますので、詳しくはお問い合わせください。
資金用途	今後1年間に必要となる費用（学校の入学金、授業料、自宅外通学に必要な住居費用）など

返済例		
例）100万円借入の場合（金利:年1.68%の場合）	返済期間	10年（119回払い）
	毎月の返済額	9,200円
	据置期間（月々）	1,500円

教育ローン
信販系教育ローン

※本校ホームページ内に各社のサイトへのリンクがございます。
※返済例については、各社サイト内「返済シュミレーション」もご活用下さい。

	(株) オリエントコーポレーション	(株) ジャックス	SMBCファイナンスサービス (株)
1.ご利用いただける方	本校に入学・在学される方の保護者。(申込時、満20歳以上60歳未満、完済時、満65歳以下) 安定収入のある方。	本校に入学・在学される方の保護者。(申込時、満20歳以上) 安定収入のある方。	本校に入学・在学される方の保護者。(申込時、満20歳以上) 安定収入のある方。
2.融資額	10万円以上500万円以内	3万円以上500万円以内	5万円以上500万円以内
3.返済期間	最長10年 (金額によって異なります。据置期間は別途)	最長15年 (据置期間含む)	最長10年 (据置期間含む)
4.金　利	実質年利3.00% (2020年11月2日現在)	実質年利3.00% (2020年11月2日現在)	実質年利3.00% (2020年11月2日現在)
5.据置期間	申込日の翌月から卒業予定月まで	申込日の翌月から卒業後6ヶ月まで	申込日の翌月から卒業予定月まで
6.備　考	滋慶学園グループ専用寮費にもご利用いただけます。出願前の事前審査やWebでの申込みも可能です。	滋慶学園グループ専用寮費にもご利用いただけます。出願前の事前審査やWebでの申込みも可能です。	Webでの申込みも可能です。
7.返済例	100万円借入の場合 (94回) 毎　月 12,000円 最終回 6,705円	100万円借入の場合 (120回) 毎　月 9,656円 最終回 9,591円	100万円借入の場合 (120回) 毎　月 9,656円 最終回 9,591円
8.お問い合わせ先	オリコ学費サポートデスク 0120-517-325	(株) ジャックス　コンシュマーデスク 0120-338-817	SMBCファイナンスサービス (株) 大阪営業第一部 050-3827-0375

教育ローン
銀行系教育ローン

提携銀行 のご利用については
「教育ローン申込通知書」が必要となります。
●お問い合わせ先:事務局会計課
TEL **03-3688-2205**

	中央労働金庫	提携銀行 三井住友銀行		提携銀行 みずほ銀行	
1.ご利用いただける方	本校に入学・在学される方の保護者。(借入時、満20歳以上、完済時、満71歳未満) 同一勤務に1年以上勤務し(自営業者等の給与所得以外の方は原則として3年以上)、かつ現在の住居に1年以上お住まいの方。前年度年収が150万円以上の方。中央労働金庫所定の保証協会の保証を受けられる方。	本校に入学・在学される方の保護者。(借入時、満20歳以上、完済時、満70歳未満) 団体信用生命保険に加入できる方。前年度税込年収が200万円以上の方。勤続5年以上の方。		本校に入学・在学される方の保護者。(申込時、満20歳以上66歳未満、完済時、満71歳以下) 前年度税込年収が200万円以上の方。勤続2年以上の方。	
2.融資額	10万円以上500万円以内 (5万円単位)	10万円以上300万円以下		10万円以上300万円以内	
3.資金用途	学校納付金・受験費用・教科書代等 諸費用・住居費用(敷金・家賃等) 他行の教育ローンからの借換え	入学金・授業料・諸費用等 納付済資金については、納付日より2ヶ月以内のもの。		入学金・授業料・諸費用等	
4.融資期間	最長10年(据置期間含まず)	6ヶ月以上9年以内 (据置期間含む)		6ヶ月以上10年以内 (1ヶ月刻み・据置期間含む)	
5.金　利	固定金利型(返済期間10年以内の場合) 2.400%～3.400% ※2020年11月2日現在	年率3.975% (変動) 2020年11月2日現在		年率3.375% (変動) 2020年11月2日現在	
6.据置期間 (利息のみの返済)	5年以内	在学期間内で6ヶ月以上48ヶ月以内 (途中退学時は一括繰上返済)		据置最長5年(在学期間+1年間)	
7.保　証	労金所定の保証協会	銀行指定の保証会社の保証		銀行指定の保証会社の保証	
8.備　考	関東以外の方でろうきんをご希望の場合は、お近くの労働金庫までお問い合わせください。	お申込みの際に、 事前に「教育ローン申込通知書」を 事務局会計課でお取り寄せ下さい。		お申込みの際に、 事前に「教育ローン申込通知書」を 事務局会計課でお取り寄せ下さい。	
9.　100万円を借入した場合の返済例	団体会員の場合　例) 2.4%金利で100万円借入の場合 (1.7%+0.7%) 5年 (60回払い)	10年 (120回払い)	5年 (60回払い)	7年 (84回払い)	5年 (60回払い)	10年 (120回払い)
毎月の返済額	17,703円	9,381円	18,405円	13,657円	18,135円	9,830円
据置期間 (月々)	2,000円		3,312円		2,812円	
10.お問い合わせ先	お客様相談デスク 0120-86-6956		三井住友銀行　梅田支店 06-6315-1122		みずほ銀行　堂島支店 06-6341-0371	

奨学金制度
地方自治体の奨学金 [例]

●下表は専修学校専門課程の例です。専修学校高等課程は各地方自治体へ直接お問い合わせください。

	市町村・制度名	金　額	問い合わせ先
東京	東京都 育英資金 奨学生	53,000円/月	財団法人　東京都私学財団融資部 03-5206-7929
東京	足立区 育英資金	45,000円/月 【入学準備金】300,000円	足立区教育委員会 学務課助成係 03-3880-5977
東京	大田区 奨学金	44,000円/月	大田区福祉管理課 03-5744-1245
東京	東村山市 奨学金	15,000円/月 【入学支援金】400,000円	東村山市教育委員会　教育部 庶務課　庶務係 042-393-5111 (内線3412)
東京	府中市 奨学金	21,000円/月 【入学時初年度納付貸付金】 520,000円以内	府中市教育委員会　教育部学務係 042-335-4424
東京	青梅市 奨学金	50,000円/月	青梅市教育委員会 総務課 学務係 0428-22-1111 (内線607・677)
神奈川	三浦市 奨学金	20,000円/月 【入学一時金】480,000円	三浦市　教育部総務課 046-882-1111
神奈川	箱根町大学等 入学資金貸付制度	100万円以内 (貸付額)	箱根町教育委員会　学校教育課 0460-85-7600
埼玉	さいたま市 奨学金	25,000円/月	さいたま市教育委員会 学事課　教育支援係 048-829-1647
埼玉	さいたま 入学準備金 貸付制度	400,000円以内	
埼玉	草加市 奨学金	20,000円/月 【入学準備金】 300,000円以内	草加市役所　総務企画課 庶務企画係 048-922-2497
埼玉	戸田市 奨学資金貸付制度	15,000円～25,000円/月	戸田市教育委員会　教育総務課 048-441-1800 (内線305)
埼玉	春日部市 奨学金 入学準備金	20,000円/月 【入学準備金】 500,000円以内	春日部市　学務課 048-763-2447
埼玉	川越市 育英資金貸付基金	20,000円/月 【入学準備金】 280,000円以内	川越市教育委員会　教育総務部 教育総務課　総務担当 049-224-6074
埼玉	上尾市 奨学金貸付制度	20,000円/月 【入学準備金】500,000円	上尾市教育委員会 教育総務部　総務課 048-775-9469
埼玉	熊谷市 奨学資金貸付金	30,000円/月 【入学準備金】 500,000円以内	熊谷市教育委員会　教育総務課 048-524-1111 (内線381)
埼玉	蕨市 奨学金制度	20,000円/月	蕨市教育委員部 教育総務課　庶務係 048-433-7735
千葉	船橋市 奨学金貸付制度	30,000円/月 【入学準備金】 400,000円以内	船橋市教育委員会 学校教育部学務課　就学助成係 047-436-2852
千葉	習志野市 入学準備金	【入学準備金】 400,000円	習志野市教育委員会 学校教育部　学校教育課 047-451-1133
千葉	市川市 入学準備金貸付制度	【入学準備金】 400,000円	市川市教育委員会　教育総務部 就学支援課　就学助成担当 047-704-0256
千葉	浦安市 奨学資金	15,000円or30,000円/月 【入学準備金】 400,000円以内	浦安市教育総務課 047-351-1111
千葉	袖ケ浦市 奨学資金	43,000円/月	袖ケ浦市教育委員会　庶務課 0438-62-2111 (内線507)
千葉	勝浦市 奨学金	30,000円/月	勝浦市教育委員会 教育課　学校教育係 0470-73-6664
千葉	銚子市 育英会育英生	20,000円/月 【入学準備金】 1,000,000円以内	財団法人銚子市育英会 0479-24-8725

※上記は一都三県の一例ですが、変更(新規・廃止他)の場合があります。また、資格・条件があるため、必ずお住まいの都道府県・市町村へ直接お問い合わせください。

生活福祉資金貸付制度(教育支援基金)

貸付限度額	①教育支援費 月額60,000円以内 ※特に必要と認める場合は、上記上限金額の1.5倍の90,000円まで貸付可 ②就学支度費 500,000円以内
対　象	低所得世帯:必要な資金の融通を他から受けることが困難な世帯(市町村民税非課税程度)
保証人	不要(世帯内で連帯借受人が必要)
利　息	無利子
償還期限	据置期間:卒業後6ヶ月以内　償還期限:据置期間経過後
お問い合わせ先	お住まいの地域の市区町村社会福祉協議会 (市区町村社会福祉協議会の連絡先が分からないときは都道府県社会福祉協議会にお問い合わせください。) 【参考】都道府県社会福祉協議会にお問い合わせ一覧 https://www.shakyo.or.jp/network/kenshakyo/index.html

母子福祉資金・父子福祉資金

東京都の例　(東京都以外の方は各地方自治体へお問い合わせください。)

申込(出願)資格	20歳未満のお子さん等を扶養している母子家庭の母または父子家庭の父
貸与月額	89,000円(自宅)　126,500円(自宅外)
利率	無利子(母または父の収入状況等により連帯保証人が必要な場合があります)
返還期間	20年以内
申込期間	随時(事前相談が原則)
お問い合わせ先	東京都福祉保健局少子社会対策部 育成支援課福祉資金担当 03-5320-4126

奨学金制度
日本学生支援機構

日本学生支援機構　●ホームページアドレス
https://www.jasso.go.jp/

第一種、第二種、給付奨学金の予約採用申込みは高校3年生の 4月～5月下旬頃から始まります！

申込み窓口は、各高校です。

申込み締切は高校によって異なりますので、早めに高校の先生にご相談ください。

●4～5月に申込みの場合の例

高校3年生の4～5月頃	面接 12～1月	志望校入学後 4～5月	5～6月
❶ 予約採用のお知らせや書類が高校に届いています。 ❷ 申込み用紙を担任の先生もしくは奨学金担当の先生にもらって記入します。 ❸ 記入した申込み用紙を高校の先生に提出します。	予約採用候補者決定通知 予約奨学金の採用通知があります。	進学した学校に採用決定通知の提出とインターネットによる進学届の提出 本校への書類の提出を行います。	本 採 用 奨学金の 貸与・受給開始

高校3年生の募集時期を過ぎると進学先での申込みとなります。 高校卒業後2年以内で、これまで大学・短大・専修学校専門課程に入学したことがなければ、出身高校を通して予約採用を申請できます。

※社会情勢により流れや締め切り日などが変更となる場合があります。

●第一種奨学金（無利子）

募集に関して　※併せて、「入学時特別増額貸与奨学金」制度もあります。P9もご参照ください。　2020年度入学者・在学採用の場合

貸与月額（私立専門学校）		自宅通学：53,000円、40,000円、30,000円、20,000円　自宅外通学：60,000円、50,000円、40,000円、30,000円、20,000円 ※太ワクの最高金額は、収入限度額が他月額と異なります。（P8もご確認下さい。）
貸与始期		採用決定時期は7月頃ですが、貸与始期は4月となります。
応募基準	所　得	日本学生支援機構が定めた収入基準額以下であること。（基準額、算出方法は家族の数や構成によっても異なります。）
	学　力	<予約採用>評定平均値3.5以上など。<在学採用>高等学校最終2ヵ年の成績が3.2以上など。 ★（家計支持者が住民税非課税である場合は成績基準が撤廃されます。）
推薦方法		本校から応募基準内の申込者全員を推薦し、日本学生支援機構において選考、採用を決定します。

第一種奨学金・返済例　2年制専攻（専門課程24ヶ月の場合）　※2020年11月2日現在。返還回数・月額は変更になる場合があります。

返済例	貸与月額	貸与総額	返還回数	返還月額
2年間（24ヶ月）貸与の場合	20,000円	480,000円	108回（9年）	4,444円
	30,000円	720,000円	108回（9年）	6,666円
	40,000円	960,000円	120回（10年）	8,000円
	50,000円	1,200,000円	144回（12年）	8,333円
	53,000円	1,272,000円	144回（12年）	8,833円
	60,000円	1,440,000円	156回（13年）	9,230円

第一種奨学金・返済例　3年制専攻（専門課程36ヶ月の場合）

返済例	貸与月額	貸与総額	返還回数	返還月額
3年間（36ヶ月）貸与の場合	20,000円	720,000円	108回（9年）	6,666円
	30,000円	1,080,000円	144回（12年）	7,500円
	40,000円	1,440,000円	156回（13年）	9,230円
	50,000円	1,800,000円	156回（13年）	11,538円
	53,000円	1,908,000円	156回（13年）	12,230円
	60,000円	2,160,000円	168回（14年）	12,857円

第一種奨学金・返済例　4年制専攻（専門課程48ヶ月の場合）

返済例	貸与月額	貸与総額	返還回数	返還月額
4年間（48ヶ月）貸与の場合	20,000円	960,000円	120回（10年）	8,000円
	30,000円	1,440,000円	156回（13年）	9,230円
	40,000円	1,920,000円	156回（13年）	12,307円
	50,000円	2,400,000円	180回（15年）	13,333円
	53,000円	2,544,000円	168回（14年）	15,142円
	60,000円	2,880,000円	192回（16年）	15,000円

※「定額返還方式」の場合。第一種奨学金・機関保証採用の場合「所得連動方式」（卒業後の年収に応じて返す月額を決定）を選択できます。詳細は日本学生支援機構（JASSO）ホームページをご覧下さい。

●第二種奨学金（利息付）

募集に関して　※併せて、「入学時特別増額貸与奨学金」制度もあります。P9もご参照ください。　2020年度入学者・在学採用の場合

貸与月額（私立専門学校）		次の中から選択でき、貸与中に金額変更が可能です。**20,000円～120,000円の間で10,000円単位**
貸与始期		採用決定時期は7月頃ですが、4月・5月・6月分の貸与を受けることも可能です。
応募基準	所　得	日本学生支援機構が定めた収入基準額以下であること。（基準額、算出方法は家族の数や構成によっても異なります。）
	学　力	学習意欲があり、学業を確実に修了できる見込みがあると学校長が認めた方。学力平均水準以上。
推薦方法		本校から応募基準内の申込者全員を推薦し、日本学生支援機構において選考、採用を決定します。

第二種奨学金・返済例　2年制専攻（専門課程24ヶ月、金利上限3%の場合）　※2020年11月1日現在。返還回数・月額は変更になる場合があります。※2020年度 利率固定式0.07%

貸与希望金額：20,000円～120,000円の間で10,000円単位

返済例	貸与月額	貸与総額	返還回数	返還総額（元本+利息）	返還月額	返還年数
2年間（24ヶ月）貸与の場合	30,000円	720,000円	108回	833,004円	7,713円	9年
	50,000円	1,200,000円	144回	1,448,002円	10,055円	12年
	80,000円	1,920,000円	156回	2,349,227円	15,059円	13年
	100,000円	2,400,000円	180回	3,018,568円	16,769円	15年
	120,000円	2,880,000円	192回	3,672,102円	19,125円	16年

第二種奨学金・返済例　3年制専攻（専門課程36ヶ月、金利上限3%の場合）　※2020年度 利率固定式0.07%

貸与希望金額：20,000円～120,000円の間で10,000円単位

返済例	貸与月額	貸与総額	返還回数	返還総額（元本+利息）	返還月額	返還年数
3年間（36ヶ月）貸与の場合	30,000円	1,080,000円	144回	1,303,191円	9,050円	12年
	50,000円	1,800,000円	156回	2,202,404円	14,117円	13年
	80,000円	2,880,000円	192回	3,672,102円	19,125円	16年
	100,000円	3,600,000円	240回	4,844,592円	20,185円	20年
	120,000円	4,320,000円	240回	5,813,549円	24,222円	20年

第二種奨学金・返済例　4年制専攻（専門課程48ヶ月、金利上限3%の場合）　※2020年度 利率固定式0.07%

貸与希望金額：20,000円～120,000円の間で10,000円単位

返済例	貸与月額	貸与総額	返還回数	返還総額（元本+利息）	返還月額	返還年数
4年間（48ヶ月）貸与の場合	30,000円	1,440,000円	156回	1,761,917円	11,293円	13年
	50,000円	2,400,000円	180回	3,018,568円	16,769円	15年
	80,000円	3,840,000円	240回	5,167,586円	21,531円	20年
	100,000円	4,800,000円	240回	6,459,510円	26,914円	20年
	120,000円	5,760,000円	240回	7,751,445円	32,297円	20年

※記載のない月額の返済例は日本学生支援機構（JASSO）ホームページをご確認下さい。

おおよその収入・所得限度額表（4人世帯の場合）　※2020年度 在学採用の場合

	第一種奨学金		第一種最高月額（53,000円／60,000円）		第二種奨学金		第一種・第二種奨学金併用貸与	
	給与所得	給与所得以外	給与所得	給与所得以外	給与所得	給与所得以外	給与所得	給与所得以外
自宅4人世帯	780万円	372万円	719万円	329万円	1,123万円	715万円	719万円	329万円
自宅外4人世帯	825万円	417万円	782万円	374万円	1,168万円	760万円	782万円	374万円

奨学金制度
日本学生支援機構

日本学生支援機構 ●ホームページアドレス
https://www.jasso.go.jp/

●2つの保証制度

申込み時に人的保証（連帯保証人と保証人を選任する）と、機関保証（保証機関の保証を受ける）のどちらかを選択します。

1	人的保証	連帯保証人（原則、父母）と、保証人（本人・連帯保証人とは別生計で、父母を除く4親等以内・65歳未満の成人親族が原則）を選任する制度です。
2	機関保証	一定の保証料を支払うことにより、日本国際教育支援協会の保証が受けられる制度です。

手続きの流れ

入学前予約採用	入学後在学採用
高校で事前に申込みができる制度です。※P7をご参照ください。	入学後にも申込みができます。採用の結果がわかるのは7月以降になります。
入学	
4月 進学届提出	4月 校内説明会後申込み
5～6月 奨学金貸与	7～8月 奨学金貸与
毎月定額が貸与されます	

●機関保証制度の保証料（目安）

第一種奨学金

区分	貸与月額	貸与期間	貸与総額	返還回数	保証料月額
2年制	20,000円	24ヶ月	480,000円	108回	469円
	30,000円		720,000円	108回	703円
	40,000円		960,000円	120回	1,032円
	50,000円		1,200,000円	144回	1,517円
	53,000円		1,272,000円	144回	1,608円
	60,000円		1,440,000円	156回	1,952円
3年制	20,000円	36ヶ月	720,000円	108回	462円
	30,000円		1,080,000円	144回	896円
	40,000円		1,440,000円	156回	1,282円
	50,000円		1,800,000円	156回	1,602円
	53,000円		1,908,000円	156回	1,698円
	60,000円		2,160,000円	168回	2,050円

第二種奨学金

区分	貸与月額	貸与期間	貸与総額	返還回数	保証料月額
2年制	20,000円	24ヶ月	480,000円	108回	553円
	30,000円		720,000円	108回	829円
	40,000円		960,000円	120回	1,216円
	50,000円		1,200,000円	144回	1,789円
	60,000円		1,440,000円	156回	2,304円
	70,000円		1,680,000円	168回	2,867円
	80,000円		1,920,000円	156回	3,072円
	90,000円		2,160,000円	168回	3,686円
	100,000円		2,400,000円	180回	4,347円
	110,000円		2,640,000円	180回	4,781円
	120,000円		2,880,000円	192回	5,512円
3年制	20,000円	36ヶ月	720,000円	108回	545円
	30,000円		1,080,000円	144回	1,057円
	40,000円		1,440,000円	156回	1,512円
	50,000円		1,800,000円	156回	1,891円
	60,000円		2,160,000円	168回	2,420円
	70,000円		2,520,000円	168回	2,823円
	80,000円		2,880,000円	192回	3,620円
	90,000円		3,240,000円	228回	4,703円
	100,000円		3,600,000円	240回	5,452円
	110,000円		3,960,000円	240回	5,997円
	120,000円		4,320,000円	240回	6,542円

※4年制学科の保証料額につきましては日本学生支援機構（JASSO）ホームページをご確認ください。
※「入学時特別増額貸与奨学金」を利用する場合も、月額分と別途で保証料が差し引かれます。金額は日本学生支援機構（JASSO）ホームページをご確認ください。

●入学時特別増額貸与奨学金

●第一学年（編入学時の入学年次を含む）において奨学金の貸与を受ける人は、希望により入学後第1回目の振込時に、10万円・20万円・30万円・40万円・50万円の中から選択した金額を増額して貸与を受けることができます。
●入学時特別増額貸与奨学金は、日本政策金融公庫の「国の教育ローン」を希望したにもかかわらず、利用できなかった世帯の学生を対象とする制度です。
●採用候補者となった場合は、進学するまでに実際に日本政策金融公庫の「国の教育ローン」を申込んだけれども融資を受けることができなかったことを確認して、進学後に申告する必要があります。（日本学生支援機構の定める要件に合致する場合は申告を免除されます。）
●採用候補者となっても、「国の教育ローン」を申込まない場合や「国の教育ローン」が利用できた場合は、入学時特別増額貸与奨学金の貸与は受けられません。
●入学時特別増額貸与奨学金のみで申込むことはできません。
●機関保証の場合、月額分と別途で保証料が差し引かれます。

●高等教育の修学支援新制度

① 給付奨学金 返済不要

●自宅/自宅外通学にて受給額が異なります。
自宅外通学とは、学生が生計維持者のもとを離れて（生計維持者の単身赴任等は含まない。）家賃を支払って生活していることをいい、次のいずれかに該当することが必要です。
また、そのことを証明する書類について、学校経由で機構への提出が毎年度必要です。

①実家（生計維持者いずれもの住所）から通学する場合（②～④において同じ）、本校までの通学距離が片道60キロメートル以上（目安）
②本校までの通学時間が片道120分以上（目安）
③本校までの通学費が月1万円以上（目安）
④本校までの通学時間が片道90分以上であり、通学時間帯に利用できる交通機関の運行本数が1時間当り1本以下（目安）
⑤その他やむを得ない特別な事情により、学業との関連で、自宅（実家）からの通学が著しく困難である場合

※詳細や最新の情報は文部科学省のHPをご確認ください。

② 授業料等減免制度

(1)学生※に対して、専門学校等は、授業料及び入学金を減免【第6,8条】
※特に優れた者であって経済的理由により極めて修学に困難があるもの(省令で規定)
(2)減免費用は、国又は地方公共団体が負担(授業料等減免交付金)。【第10,11条】

※給付奨学金の支給額を試算できるシミュレーションのページはこちら

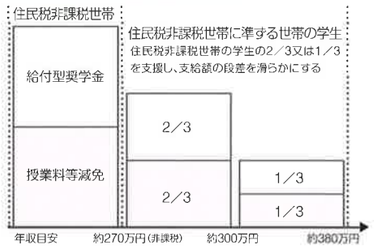
※本校は、本制度の対象校として認定されております。

支援措置の対象となる学生等の 認定要件について

支援対象者の要件

○進学前は成績だけで否定的な判断をせず、レポート等で本人の学習意欲を確認
○専門学校等への進学後の学習・収入状況等も継続時に確認

家計の経済状況に関する要件



両親・本人・中学生の家族4人世帯の場合の目安。基準を満たす世帯年収は家族構成により異なる

給付型予約採用手続きの流れ

高校3年生

- 4～5月 予約申込（高校にて）
- 9月以降 志望校に出願し、合格通知が届いたら、給付型奨学金に申込んでいる旨、進学先の学校に連絡
- 11～12月頃 進学先の学校から申請書・誓約書が送付される
- 12～1月 予約採用候補者決定通知
- 1月 進学先の学校に申請書・誓約書提出
- 1～2月 進学先の学校にて授業料減免等の手続き

入学後

- 4～5月 進学した学校に採用決定通知の提出とインターネットによる進学届の提出
- 5～6月 奨学金の貸与・受給開始

※社会情勢により流れや締め切り日などが変更となる場合があります。

新聞奨学生制度・学生社員制度

大手新聞社および飲食店などが運営する奨学金制度で、業務に携わることで学費の貸与をしていただき、かつ月々の給与も支給されるシステムです。食事や住居の提供もあり、安定した学生生活が営めるよう、配慮されています。

●新聞奨学会

対象	本校に在学する方、および本校に入学希望する方。
目的	学費・生活費を自力で負担できますが、早朝勤務のため体力の自信と強い意思が求められます。保護者とよく相談のうえ決定してください。新聞社によっては、朝刊のみもご応募できます。

※上記は一例となりますので、右記の各新聞奨学会へお問い合わせください。
（最寄りの各社販売店でも奨学生の概要問い合わせは可能です。）※各販売店にて定員があります。

新聞奨学会	お申込み・問い合わせ
産経新聞奨学会	0120-336-661 ●ホームページ http://sankei-shougakukai.jp
毎日育英会	0120-098-098 ●ホームページ http://www.mainichi-ikueikai.com
東京新聞奨学会	0120-18-3751 ●ホームページ http://www.tokyo-np.co.jp/hanbai/shougaku
朝日奨学会	0120-127-733 ●ホームページ http://www.asahishougakukai.or.jp
日本経済新聞育英奨学会	0120-00-5725 ●ホームページ http://www.nsn-tokyo.jp/ikuei
読売育英奨学会	0120-430-116 ●ホームページ http://www.yc1.jp/yomisho

※手続きは、各新聞社にて休日・給与・仕事の内容が異なりますので、直接電話で確認してください。

●学生社員制度

飲食店の接客業務などをしながら進学の経済的負担を軽減する制度です。

利用例

株式会社サッポロライオン
●TEL:03-5447-6190（人事総務部） ●フリーダイヤル:0120-102-290

【概要】本学近辺の店舗のホールスタッフ、キッチンスタッフ他のお仕事です。
安価の社員寮に入寮でき、毎月の給与のほかに通学・通勤に必要となる交通費が支給されます。

※詳細は直接お問い合わせください。
※募集が早期締切となる場合もありますので、お早めにご相談ください。
※社会情勢により、採用を行わない場合もございますので、必ずお問合せの上ご検討下さい。